

各都道府県（熊本県を除く）・指定都市（熊本市を除く）教育委員会学校安全主管課  
各都道府県（熊本県を除く）私立学校主管課  
附属高等学校及び中等教育学校を置く各国公立大学法人事務局 御中  
構造改革特別区域法第12条第1項の認定を受けた  
各地方公共団体の学校設置会社担当課

文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部参事官  
総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課

「世界津波の日」2024 高校生サミット in 熊本」の開催について（事前通知）

昨年10月に「世界津波の日」（11月5日）の国内イベントの一つとして、新潟県新潟市で高校生サミットが開催されましたが、令和6年10月23～24日（予定）に熊本県熊本市において、「世界津波の日」高校生サミットが開催されることとなりました。

現在、熊本県をはじめ関係機関等で具体的な事業内容の検討が進められているところです。

ついては、貴管内の高等学校及び中等教育学校、特別支援学校高等部に対し、さらに各都道府県教育委員会においては、域内の市区町村立高等学校及び中等教育学校、特別支援学校高等部を設置している市区町村教育委員会に対し、本サミットの開催の周知をお願いします。

特に、防災教育に取り組むなど、本行事の趣旨に適した学校に対しては、来年2月頃に送付する開催概要（案）を確認していただき、参加を希望するか検討いただくよう、あわせて、周知をお願いします。

なお、参加希望校及び参加希望人数については、来年4月以降に改めて調査する予定です。

【添付資料一覧】

（別紙）「世界津波の日」2024 高校生サミット in 熊本 報道資料（抜粋・更新）  
（参考）「世界津波の日」2022 高校生サミット in 新潟 報告書（抜粋）

【参考URL（過去の「世界津波の日」高校生サミット）】

「世界津波の日」2022 高校生サミット in 新潟 公式ホームページ  
<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/tsunami2022/>  
「世界津波の日」2019 高校生サミット in 北海道 公式ホームページ  
<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/sks/kss/index.html>  
「世界津波の日」2018 高校生サミット in 和歌山 公式ホームページ  
<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/022300/tsunami2018.html>  
「世界津波の日」2017 高校生島サミット in 沖縄 公式ホームページ  
<http://www.okinawa-congre.co.jp/tsunami-summit2017/>  
「世界津波の日」高校生サミット in 黒潮 公式ホームページ  
<http://www.town.kuroshio.lg.jp/pb/cont/summit-japanese>

【問合せ先】

文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部  
参事官（施設防災担当）付（亀井・勝又）  
電話 03-5253-4111（内線3184）  
E-mail: bousai@mext.go.jp

令和5年(2023年)8月24日報道資料を抜粋・更新

令和5年(2023年)8月24日

令和5年(2023年)10月12日 抜粋・更新

熊本県知事公室危機管理防災課

## 「世界津波の日」高校生サミット 2024 年本県開催について

- 「世界津波の日」高校生サミットは、世界約50か国の高校生が災害の脅威と対策を学ぶ場として、2016年から日本各地で開催されています。
- 2024年秋、第6回目となる本サミットを本県で開催します。
- このサミットを通じて、本県の防災の取り組みや創造的復興の歩みを広く発信して参ります。

### 【概要(予定)】

日 程	令和6年(2024年)10月21日(月)・22日(火) スタディツアー 令和6年(2024年)10月23日(水)・24日(木) 高校生サミット ※スタディツアーは海外生対象予定
場 所	熊本県内(メイン会場は熊本城ホールの予定)
内 容	分科会、総会、レセプション、記念植樹など
参加者	世界約50か国、国内、県内の高校生 500人
主 催	熊本県、熊本県教育委員会、熊本市、熊本市教育委員会

### 【「世界津波の日」及び高校生サミットとは】

- ・11月5日の「世界津波の日」は、2015年12月の国連総会において、日本が提唱し、全会一致で採択され、制定されたもの。
- ・これを契機に、2016年から世界各国の高校生が津波の脅威とその対策を学習するための、「世界津波の日」高校生サミットが日本各地で過去5回開催されている。
- ・次代を担う世界各国の高校生が地震や津波の脅威について学び、防災・減災・復興の在り方等をともに考え議論することで、互いのきずなを深める取り組み。

### 【過去開催状況】

(2022年) 新潟県 / (2019年) 北海道 / (2018年) 和歌山県 /  
(2017年) 沖縄県 / (2016年) 高知県



**WORLD TSUNAMI  
AWARENESS DAY**  
5 NOVEMBER

(参考)「世界津波の日」2022高校生  
サミット in 新潟 報告書(抜粋)

# 「世界津波の日」2022 高校生サミット in 新潟

“復興を力に、経験と教訓を世界へ” Oct. 19 – Oct. 20  
～雪国ではぐくまれた助け合いの精神から学ぶ防災～ (Wed.) (Thu.)

朱鷺メッセ(新潟コンベンションセンター)展示ホール | 新潟市中央区万代島6番1号

Toki Messe, Niigata Convention Center, Exhibition Hall  
(Bandaijima 6-1, Chuo-ku, Niigata City)

High School Students Summit on  
“World Tsunami Awareness Day”  
2022 in Niigata

“The Power for Reconstruction: Experiences and Lessons for the World”  
- Disaster Risk Reduction: Lessons from Snow Country's *Tasukeai*, the Spirit of Helping One Another -

## 報告書 Report

令和4年10月19日～20日

新潟県、新潟県教育委員会、新潟市、新潟市教育委員会



**WORLD TSUNAMI  
AWARENESS DAY**  
5 NOVEMBER

## Niigata Phoenix Declaration

In 2015 the United Nations (UN) General Assembly adopted World Tsunami Awareness Day. Since 2016, the year following the adoption of World Tsunami Awareness Day, the High School Students Summit on “World Tsunami Awareness Day” has been held annually, and in 2022 it was held in Niigata. Niigata Prefecture has experienced many natural hazards, such as the Niigata Earthquake in 1964 and the Chuetsu Earthquake in 2004, but each time people came together and helped one another rebuild their communities. We must pass on these lessons of the past to future generations as disaster prevention leaders.

As we will be the ones living in the future, we need to consider the benefits of nature, but also its risks, and act accordingly.

Today, as high school students from 26 countries, we have gathered in Niigata where we have learned and discussed disaster prevention, disaster risk reduction, and reconstruction through past natural hazards and the lessons from our predecessors.

- In order to learn about past natural hazards and disaster prevention efforts, and improve our ability to survive, we will:
  - conduct more realistic and interesting evacuation drills to increase awareness and help people face disasters efficiently
  - talk with communities that have been affected by disasters to understand and learn from their stories
- In order to reduce potential disaster risks, and to minimize the effects after a disaster occurs, we will:
  - encourage the use of pictograms and multilingual services to improve support for all communities
  - raise awareness by using pop culture references to appeal to younger generations
- In order to build communities to be stronger and better than they were before a disaster, we will:
  - conduct surveys to learn about past disasters and develop counseling and volunteering plans for future hazards
  - examine past disasters to make damage simulations and plan more resilient construction

We hereby declare that all of us who participated in this Summit will take the lead to raise awareness and increase understanding of natural hazards, thereby creating a safer world for all.

October 20, 2022

High School Students Summit on “World Tsunami Awareness Day” 2022 in Niigata



WORLD TSUNAMI  
AWARENESS DAY  
5 NOVEMBER

## 新潟フェニックス宣言

2015年の国連総会において、「津波の日」が制定されたことを契機として、翌2016年から「世界津波の日」高校生サミットが開催され、2022年は新潟県での開催となりました。新潟県は新潟地震や中越地震など、多くの自然災害を経験しましたが、その度に人々が一体となり、助け合って復興を遂げてきました。私たちは、この過去の教訓を、将来の防災リーダーとして未来へつないでいかなければなりません。

これから先の時代を生きていく私たちは、自然の恩恵だけでなく、そのリスクについてもひとりひとりが考え、行動していく必要があります。

今回、世界26カ国から新潟に集まった私たち高校生は、防災、減災、復興について、過去の自然災害や先人の教えを通じて学びを深め、議論しました。

- 私たちは、過去の自然災害や防災の取組について学び、生き抜く力を高めるために、
  - ・災害時に適切な行動ができるよう、より実践的で、興味を持って取り組める避難訓練を実施します
  - ・被災した地域の人々の話を聞き、理解を深めます
- 私たちは、災害発生の可能性を減らし、また災害が発生した場合にも、その被害を最小限にとどめるために、
  - ・ピクトグラムや多言語サービスの利用を促進し、多様な表示での支援を充実させます
  - ・ポップカルチャーを利用し、若者世代の意識を高めます
- 私たちは、災害が起こる前よりも災害に強い、より良い地域社会を創るために、
  - ・過去の災害に関する調査を実施し、災害時を想定した相談窓口やボランティア体制を構築します
  - ・過去の災害を検証し、被害想定を踏まえ、災害に強い建物づくりを進めます

自然災害の脅威を全世界の共通認識とし、世界中の人々が自然災害への意識を継続的に持ち続けられるように、このサミットに参加した私たち全員が防災リーダーとなり、防災の輪を広げていくことをここに宣言します。

2022年10月20日

「世界津波の日」2022 高校生サミット in 新潟



# 開催概要

## Outline of the event

### ■名 称

#### Event Name

「世界津波の日」2022高校生サミット in 新潟

High School Students Summit on “World Tsunami Awareness Day” 2022 in Niigata

### ■開催趣旨

#### Concept

11月5日の「世界津波の日」の制定は、津波の脅威と対策について理解と関心を深めることを目的に、2015年12月の国連総会において、日本が提唱し、我が国をはじめ142か国が共同提案を行い、全会一致で採択されました。

翌2016年からは、世界各国の高校生が津波の脅威と対策について学ぶ場として、「世界津波の日」高校生サミットが開催されており、2016年の高知県では「黒潮宣言」、2017年の沖縄県では「若き津波防災大使ノート」、2018年の和歌山県では「稲むらの火継承宣言」、そして2019年の北海道では「イランカラプテ宣言」が採択されています。

この間においても、2018年のインドネシア・スラウェシ島での地震・津波をはじめ、火山噴火、洪水、森林火災など世界各地で大規模な自然災害が発生し、世界の持続可能な開発を進める上での大きな障害となっています。災害に対する脆弱性を減らし、被害を軽減していくことは国際社会の重要な課題の一つです。

日本において、私たちが暮らすここ新潟県は、豊富な雪解け水が豊かな農林水産業や環境を育むなど、海や山といった豊かな自然からたくさんの恩恵を享受してきましたが、その地勢や気候などの地理的条件から、地震、洪水、豪雪といった自然災害が発生しやすい地域でもあり、これまでも様々な自然災害に見舞われてきた歴史があります。

1964年の新潟地震では、地震発生後の津波や液状化により沿岸部や内陸の海拔ゼロメートル地帯で甚大な被害が発生し、また、最大震度7を記録した2004年の中越地震では、棚田など農村の原風景を有する中山間地で発生した大規模な土砂災害により、それぞれ多くの尊い命が失われました。

被災による多くの悲しみや苦しみを経験する中であって、助け合いや「きずな」は復旧・復興の糧となりました。また、中越地震からの復興を願い「何度、被害に遭っても、不死鳥のように蘇る」というメッセージが込められた「復興祈願花火フェニックス」は、災害からの復興の象徴です。

また、今年1月、トンガは、数十年に一度と言われる海底火山の噴火による津波により、沿岸部の低海拔地域において、甚大な被害を受けました。新潟地震による沿岸部や内陸部の海拔ゼロメートル地帯の被害からの復興と併せ、これらの教訓を、大洋州、アジアの国々等と今回のサミットで議論し、各国の防災、減災に生かしていくためにも、私たちには、大きな被害をもたらした災害の記憶を風化させず、その経験や教訓を次世代に伝承していくことが求められています。

本年は、新潟県において、地震や津波などの災害から国民の生命、身体、財産の保護、国民生活及び国民経済に及ぼす影響を最小化できる国土強靱化を担う将来のリーダーの育成と、世界各国の「きずな」をより一層深めることを目的に、「世界津波の日」2022高校生サミットin新潟を開催します。

The resolution to designate November 5 as “World Tsunami Awareness Day,” advocated by Japan and later jointly proposed by 142 countries including Japan, was adopted by consensus at the United Nations (UN) General Assembly in December 2015, with the goal of raising understanding about the threat of tsunamis and measures that can be taken to prepare against them.

Since 2016, the year following the adoption of World Tsunami Awareness Day, the High School Students Summit on “World Tsunami Awareness Day” has been held annually, and serves as a platform for high school students around the globe to learn about the threat of tsunamis and the measures that can be taken against them. In subsequent years, many declarations have been adopted: the “Kuroshio Declaration” in Kochi Prefecture in 2016, the “Ambassador’s Note” in Okinawa Prefecture in 2017, the “Inamura-no-Hi Declaration” in Wakayama Prefecture in 2018, and the “Irancarapte Declaration” in Hokkaido in 2019.

In 2018, there were large natural hazards of all types, including the earthquake and tsunami on Sulawesi in Indonesia, as well as other volcanic eruptions, floods, and forest fires around the world. These disasters have become a great barrier to sustainable development worldwide. Reducing our vulnerability to these disasters and mitigating the damage they cause is an important topic of interest in our global society.

In Niigata, Japan, we enjoy the many benefits of our natural resources from the mountains and the ocean, and the plentiful snowmelt that helps our agriculture to flourish and helps to grow our natural environment. However, our topography and climate have also made Niigata a place prone to a variety of natural hazards such as earthquakes, floods, and heavy snowfall. The prefecture has a history of being hit by a variety of natural hazards.

The 1964 Niigata earthquake created a tsunami and caused soil liquefaction, causing serious damages both along the coastline and in low-lying inland areas. Then again in 2004 the Chuetsu Earthquake struck with a reading of 7 on the Japanese shindo earthquake scale (or a moment magnitude of 6.6), and a great number of lives were lost in the resulting large-scale landslides in the mountainous regions that hold much of our traditional Japanese landscape such as farmland and rice terraces.

In the midst of the suffering and pain experienced by the victims of these disasters, their desire to help one another and their *kizuna*, their connections to each other, became the seeds for recovery and reconstruction. The “Reconstruction Prayer Phoenix Firework,” which holds the prayers to rebuild after the Chuetsu earthquake and to rise like a phoenix no matter how many disasters occur, is a symbol of recovery after the disaster.

In January of this year, Tonga suffered immense damage in low-lying coastal areas caused by an undersea volcanic eruption, said to occur only once in a few decades. Along with the recovery from damage caused by the Niigata Earthquake in coastal areas and inland areas at sea level, these instances serve as lessons to be discussed with other Asian and Pacific nations at this summit. In order to make use of these lessons for disaster preparedness and mitigation in each country, we must ensure that our memories of these disasters do not fade, and that our experiences and the lessons we learned are passed on to the next generation.

This year, the High School Students Summit on “World Tsunami Awareness Day” 2022 will be held in Niigata, and aims to foster the growth of new leaders who will play a central role in protecting citizens’ lives, livelihoods and assets from earthquakes, tsunamis and other disasters, while minimizing the impacts of disasters on daily life and the economy by contributing to the resilience of their societies. The event will further deepen the *kizuna*, or “bonds,” between each country.

## ■主 催

### Organizers

新潟県、新潟県教育委員会、新潟市、新潟市教育委員会

Niigata Prefectural Government, Niigata Prefectural Board of Education, Niigata City,  
Niigata City Board of Education

## ■共 催

### Co-organizer

国連防災機関（UNDRR）駐日事務所

United Nations Office for Disaster Risk Reduction (UNDRR) Office in Japan

## ■協 賛

### Sponsor

公益財団法人新潟県市町村振興協会

Niigata Municipal Development Corporation

## ■後 援

### Supporting Organizations

国土強靱化推進本部、内閣府政策統括官(防災担当)、外務省、文部科学省、国土交通省、気象庁、経済協力開発機構(OECD)、東アジア・アセアン経済研究センター(ERIA)

National Resilience Promotion Headquarters /

Director General for Disaster Management, Cabinet Office of Japan /

Ministry of Foreign Affairs of Japan /

Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology /

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism of Japan /

Japan Meteorological Agency /

Organization for Economic Cooperation and Development (OECD) /

Economic Research Institute for ASEAN and East Asia (ERIA)

## ■開催日

### Date

2022年10月19日(水)～10月20日(木)

October 19 (Wednesday) – October 20 (Thursday) 2022

## ■会 場

### Venue

朱鷺メッセ（新潟コンベンションセンター）展示ホール  
(新潟市中央区万代島6番1号)

Toki Messe, Niigata Convention Center, Exhibition Hall  
(Bandaijima 6-1, Chuo-ku, Niigata City)

## ■参加者

### Participants

区分 Classification		人数 Number of Participants	区分 Classification		人数 Number of Participants
国 内 Domestic	高校生 High School Students	146名	オンライン Online	海外の高校生 High School Students	74名
	引 率 Supervisors	49名			
	留学生 Exchange Students	31名		一 般 General Admission	100名
	来 賓 Guests	100名			
	合 計 Total	326名		合 計 Total	174名

## ■使用言語

### Language

英語/English



## ■スケジュール

### Schedule in Japan Time (GMT + 9)

月 日 Date	時 間 Time	プログラム Program
10月19日(水) October 19 Wednesday	9:00-13:45	分科会（発表・討論） Workshops (Presentations and Discussions)
	14:00-14:45	開会式 Opening Ceremony
	14:50-15:10	記念撮影 Commemorative Group Photo
	15:20-16:40	分科会（討論・統括） Workshop (Discussion and Summarization)
	16:45-17:10	スタディツアーオンライン報告 Report of Online Study Tour
	18:40-19:40	交流会（朱鷺メッセ メインホール） Reception at Toki Messe
10月20日(木) October 20 Thursday	9:00- 9:30	記念植樹・記念碑除幕式（リバーフロントパーク） Commemorative Tree Planting Ceremony (Riverfront Park)
	10:00-12:00	総会・閉会式 General Meeting, Closing Ceremony

## ■テーマ・分科会

### Theme and Workshops

#### (1)全体テーマ

##### General Theme

**“復興を力に、経験と教訓を世界へ”**

～雪国で育まれた助け合いの精神から学ぶ防災～

**“The Power for Reconstruction : Experiences and Lessons for the World”**

-Disaster Risk Reduction: Lessons from Snow Country's Tasukeai, the Spirit of Helping One Another-

#### (2)分科会の分野

##### Workshops

##### ・災害を理解し、生き抜く力を高める

災害に対して的確な判断や避難を行うため、過去の災害や先人の教え、発生のメカニズムなどについて理解を深めるとともに、「自分の命は自分で守る」という姿勢を身につけ、自ら率先して安全を確保するための行動をとる。

##### ・ Understanding Disasters and Improving your Survival Abilities

In order to make rational decisions about disasters and evacuation, we will reflect on previous disasters and the people who experienced them, and deepen our understanding about the mechanisms of disaster occurrence, while learning how to protect ourselves from disasters, and proactively taking actions to ensure our safety.

・災害リスクの軽減

災害を完全に防ぐことはできないことを前提とし、災害発生の可能性を減らし、また災害が発生した場合にも、その被害を最小限にとどめることを目指す。

・Reducing Disaster Risks

On the presumption that it is impossible to completely prevent natural hazards, we will aim to decrease the likelihood of their occurrence, and minimize damage in the event of a natural hazard.

・より良い復興に向け共に歩む

復旧・復興に向けた学校や地域の活動に進んで参加・協力し、災害が起こる前よりも災害に強い、より良い地域社会を創る。また、復興に向け、国や地域を越えて協力を行う。

・Taking Steps towards Building Back Better

We will create stronger regional communities through actively participating in and cooperating with activities at schools and in our communities for restoration and reconstruction, and cooperate beyond borders towards reconstruction.

■関連プログラム（主催：公益財団法人 日中友好会館、株式会社JTB）  
Associated Program（Organized by the Japan-China Friendship Center and JTB Corp.）

一部のサミット参加高校生は、次のプログラムにも参加  
Some high school students participating in the Summit also took part in the following program.

月 日 Date	プログラム Program
10月17日(月) October 17 Monday	スタディツアー 3 班に分かれ、それぞれの訪問地において、防災・環境関連施設等の見学を通じて、防災・環境分野の経験や取り組みを学ぶとともに、スタディツアーの移動中等の時間で、留学生と日本人高校生が交流する。  [ 1 班訪問地 ] 佐渡市、新潟市 [ 2 班訪問地 ] 十日町市、新潟市他 [ 3 班訪問地 ] 糸魚川市、新潟市他
10月18日(火) October 18 Tuesday	Study Tour Participants will be divided into 3 groups, and will visit disaster risk reduction and environmental related facilities. Each group will learn about experiences and efforts being made in disaster risk reduction and environmental fields. They will also interact with Japanese high school students along the way.  [Group 1] Sado City and Niigata City [Group 2] Tokamachi City, Niigata City, and surrounding areas. [Group 3] Itoigawa City, Niigata City, and surrounding areas.

国内参加校一覧

List of domestic participating schools

No.	地域 Area	学校名 School name
1	北海道 Hokkaido	北海道滝川高等学校 Takikawa High School
2		北海道登別明日中等教育学校 Noboribetsu Akebi Secondary School
3		北海道浦河高等学校 Urakawa High School
4		北海道函館水産高等学校 Hakodate Fisheries High School
5		北海道釧路湖陵高等学校 Kushiro Koryo High School
6		札幌日本大学高等学校 Sapporo Nihon Univ. High School
7	青森県 Aomori	青森県立八戸中央高等学校 Hachinohe Chuo High School
8	岩手県 Iwate	岩手県立釜石高等学校 Kamaishi High School
9	宮城県 Miyagi	宮城県多賀城高等学校 Tagajo High School
10		宮城県気仙沼高等学校 Kesenuma High School
11		宮城県仙台第一高等学校 Sendai Daiichi High School
12		宮城県仙台第三高等学校 Sendai Daisan High School
13	山形県 Yamagata	山形県立酒田東高等学校 Sakata Higashi High School
14	群馬県 Gunma	共愛学園高等学校 Kyoai Gakuen High School
15		明和県央高等学校 Meiwa Kenoh High School
16	茨城県 Ibaraki	清真学園高等学校 Seishin Gakuen High School
17		東洋大学附属牛久高等学校 Toyo Ushiku Senior High School
18	埼玉県 Saitama	埼玉県立不動岡高校学校 Fudooka High School
19		早稲田大学本庄高等学院 Waseda Univ. Honjo Senior High School
20	東京都 Tokyo	東京学芸大学附属国際中等教育学校 Tokyo Gakugei Univ. International Secondary School

No.	地域 Area	学校名 School name
21	東京都 Tokyo	富士見丘中学高等学校 Fujimigaoka High School
22		順天中学高等学校 Juntan High School
23	神奈川県 Kanagawa	神奈川県立厚木高等学校 Atsugi High School
24		神奈川県立横浜平沼高等学校 Yokohama Hiranuma High School
25		神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校 Yokohama Midorigaoka High School
26		横須賀市立横須賀総合高等学校 Yokosuka Sogo High School
27		関東学院六浦高等学校 Kanto Gakuin Mitsuura High School
28	新潟県 Niigata	新潟県立新潟高等学校 Niigata High School
29		新潟県立新潟南高等学校 Niigata Minami High School
30		新潟県立新潟商業高等学校 Niigata Commercial High School
31		新潟県立五泉高等学校 Gosen High School
32		新潟県立新発田高等学校 Shibata High School
33		新潟県立長岡高等学校 Nagaoka High School
34		新潟県立三条高等学校 Sanjo High School
35		新潟県立国際情報高等学校 Kokusai Joho High School
36		新潟県立柏崎高等学校 Kashiwazaki High School
37		新潟県立高田高等学校 Takada High School
38		新潟県立高田北城高等学校 Takada Kitashiro High School
39		新潟県立村上中等教育学校 Murakami Secondary School
40		新潟県立燕中等教育学校 Tsubame Secondary School
41		新潟県立柏崎翔洋中等教育学校 Kashiwazaki Shoyo Secondary School

No.	地域 Area	学校名 School name
42	新潟県 Niigata	新潟市立万代高等学校 Bandai High School
43		新潟市立高志中等教育学校 Kohshi Secondary School
44		新潟明訓高等学校 Niigata Meikun Senior High School
45		新潟第一高等学校 Niigata Daiichi High School
46		新潟清心女子高等学校 Niigata Seishin Girls' Senior High School
47		上越高等学校 Joetsu High School
48	長野県 Nagano	長野県上田高等学校 Ueda High School
49		佐久長聖高等学校 Saku Chosei Senior High School
50	福井県 Fukui	福井県立鯖江高等学校 Sabae High School
51	静岡県 Shizuoka	静岡県立駿河総合高等学校 Suruga Sogo High School
52	愛知県 Aichi	大成高等学校 Taisei High School
53	三重県 Mie	三重県立四日市高等学校 Yokkaichi High School
54	大阪府 Osaka	大阪府立高石高等学校 Takaishi High School
55		大阪仰星高等学校 Osaka Gyosei High School
56		高槻高等学校 Takatsuki Senior High School
57		大阪国際高等学校 Osaka International High School
58	兵庫県 Hyogo	滝川高等学校 Takigawa High School
59		神戸大学附属中等教育学校 Kobe Univ. Secondary School
60	奈良県 Nara	奈良育英高等学校 Nara Ikuei High School
61	和歌山県 Wakayama	和歌山県立向陽高等学校 Koyo High School
62		和歌山県立日高高等学校 Hidaka High School



No.	地域 Area	学校名 School name
63	鳥取県 Tottori	鳥取県立鳥取西高等学校 Tottori Nishi High School
64	徳島県 Tokushima	徳島県立城東高等学校 Joto Senior High School
65	愛媛県 Ehime	愛媛県立松山南高等学校 Matsuyama Minami High School
66	高知県 Kochi	高知県立高知国際高等学校 Kochi Kokusai Senior High School
67		明德義塾高等学校 Meitoku Gijuku High School
68	福岡県 Fukuoka	明治学園高等学校 Meiji Gakuen Senior High School
69	大分県 Oita	大分県立佐伯鶴城高等学校 Saiki Kakujou High School

# 海外参加校一覧

## List of overseas participating schools

No.	地域 Area	学校名 School name
1	大韓民国 Republic of Korea	Incheon International High School
2	モンゴル Mongolia	Shine Mongol High School
3		Etugen Dund High School
4		84th Secondary School
5	インドネシア Indonesia	MAN 1 Model Banda Aceh
6	カンボジア Cambodia	Preah Sisowath High School
7	タイ Thailand	Watsuwankeereewong
8	フィリピン Philippines	Puro National High School Caoayan
9	ブルネイ Brunei Darussalam	Maktab Duli Pengiran Muda Al-Muhtadee Billah
10	ベトナム Viet Nam	Tran Phu High School
11	ミャンマー Myanmar	Brainworks International School
12	ラオス Lao People's Democratic Republic	Vientiane High School
13	フィジー Fiji	Suva Grammar School
14	ミクロネシア Micronesia	Madolenihmw High School
15	パプア ニューギニア Papua New Guinea	Sogeri National School of Excellence
16	サモア Samoa	Leifiifi college
17	ソロモン諸島 Solomon Islands	Betikama Adventist College
18	トンガ Tonga	Tonga High School
19	バヌアツ Vanuatu	Lycee Louis Antoine de Bougainville